

免許状教科	中学校一種（社会）、高等学校一種（地理歴史・公民・商業）			
科目名	日本国憲法	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	さとう ひろとし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	佐藤 寛稔	修得単位	2単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	憲法とは何か、日本の統治システムの基本構造はどのようなものか、日本の現在の人権保障の状況はどのようになっているかを理解する。			
到達目標	日本国憲法の成立史、日本国憲法の下での統治システム及び人権保障の基本的事項を説明できる。			
授業概要	日本国憲法の成立過程を説明した上で、日本の統治システムの基本構造と人権保障について学びます。特に教育関連判例について詳しく説明します。			
授業計画				
第1回	憲法というルールについて			
第2回	大日本帝国憲法の基本的枠組みと日本国憲法の制定			
第3回	国民主権と天皇制			
第4回	国会と国会議員			
第5回	内閣制度と内閣総理大臣			
第6回	裁判所の役割と違憲審査制度			
第7回	財政・地方自治			
第8回	人権とは何か・人権の享有主体—とりわけ外国人の人権について			
第9回	幸福追求権			
第10回	法の下での平等			
第11回	自由権：思想・良心の自由と学問の自由 国旗・国家に関する判例			
第12回	自由権：信教の自由と政教分離 公教育の宗教的中立性			
第13回	自由権：表現の自由			
第14回	参政権			
第15回	社会権—とりわけ教育を受ける権利			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> 憲法を学ぶ前提として政治や行政に関する記事を読んでください。（毎日0.5時間） 授業で学んだことを正確に理解できるよう復習時間を作ってください。（1.5時間） 			
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> 教職必修科目ですので、教師になる人間としてふさわしい言動を求めます。 不合理な理由での遅刻、授業中の私語、整容の乱れは一切認めません。 			
テキスト	憲法の条文を用意してください。（WEB上のものでも構いません。）			
参考文献・資料	芦部信喜著 高橋和之補訂『憲法（第7版）』（岩波書店）			
成績評価の方法	【レポート課題 30% 期末試験 70%】 <ul style="list-style-type: none"> 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 			
オフィスアワー	月曜日 9:00～10:30 火曜日 9:00～10:30			
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
学生へのメッセージ	教員を目指す方は、いずれ生徒の人権と向き合わなければなりません。教師という立場で生徒の人権を守るとはどういうことなのか一緒に考えましょう。			